

珠洲

広報すず
No.848
September 2025

9



◆ 今月の表紙 ◆
飯田燈籠山祭り、宝立七夕キリヨまつり



【地震】民間賃貸住宅入居助成金

次のいずれかを満たす場合に、応急仮設住宅等から県内の民間賃貸住宅に入居した際の敷金・礼金などの初期費用相当額を助成します。（1世帯1回限り）

- 半壊以上の被災をした世帯
- 敷地被害解体、長期避難世帯
- 応急仮設住宅等（建設型、賃貸型または公営住宅（目的外使用））から供与期間内に退去した世帯（賃貸型応急住宅に入居している世帯が2者契約に切り替えた場合も適用）

■支援額 一律20万円

■対象期間 令和6年1月1日以降に係るもの

■申請期限 入居から6か月以内（すでに入居している場合は令和9年2月28日まで）

■問い合わせ 環境建設課建築住宅係 ☎(82)7756

【地震】公営住宅入居助成金

次のいずれかを満たす場合に、応急仮設住宅等から県内の公営住宅・復興公営住宅に入居した際の照明・コンロなどの初期設備費用相当額を助成します。（1世帯1回限り）

- 半壊以上の被災をした世帯
- 敷地被害解体、長期避難世帯
- 応急仮設住宅等（建設型、賃貸型または公営住宅（目的外使用））から供与期間内に退去した世帯（公営住宅に目的外使用で入居している世帯が通常入居に切り替えた場合も適用）

■支援額 一律10万円

■対象期間 令和6年1月1日以降に係るもの

■申請期限 入居から6か月以内（すでに入居している場合は令和8年1月31日まで）

■問い合わせ 環境建設課建築住宅係 ☎(82)7756

【地震】応急仮設住宅の入居期間延長

令和8年1月以降、応急仮設住宅（建設型・賃貸型）の入居期間（最長2年）の満了を迎えます。住まいの再建状況等により、入居期間の延長（最長1年）が認められます。

詳しくは、送付する書類をご確認ください。**※延長を希望されない方も必ず提出が必要です。**

■送付対象者 応急仮設住宅にお住まいの方（世帯主）

■案内送付時期 入居時期等に合わせて順次発送します（7月～11月頃）。

■提出期限 送付書類をご確認ください。

■延長するための要件 （例）住宅の再建・修繕が完了していない、次の家が見つからない、復興公営住宅に入りたい など

※詳細は送付書類をご確認ください。

■問い合わせ 環境建設課建築住宅係 ☎(82)7756

【地震】引っ越し時の転居費用助成の受付窓口変更

変更前 市民課（市役所 1 階）



変更後 環境建設課（市役所 2 階）

■問い合わせ 環境建設課建築住宅係 ☎ (82)7756

【地震】珠洲市伝統文化施設等整備支援事業

令和 6 年能登半島地震により被害を受けた伝統文化施設等の早期復旧および伝統文化の保存・継承を図るため、施設の新設・建替・修繕事業に対し、支援します。

- 対象者 施設を維持・管理する自治組織
- 対象事業 キリコ・山車の倉庫などの新設・建替・修繕
- 対象範囲 本体工事、付帯設備（電気・空調・衛生等設備）工事、外構工事、地盤復旧・改良工事、設計監理委託、建替に必要な解体に要する経費（土地購入費および事務費は除く）
- 支援額 3,000 万円（上限額）、補助率 9/10

■問い合わせ 芸術文化創造室 ☎ (82)6200

仮置場の開場期間

終了間近

仮置場の開場期間は下記のとおりです。災害ごみの片付けはお早めをお願いします。

- 飯田港 令和 7 年 9 月 29 日（月）まで
（毎週火曜休み、9 時 30 分～ 15 時 30 分）

■問い合わせ 環境建設課環境係 ☎ (82)7743 / (84)5234

【地震】【豪雨】自費解体の受付

終了間近

令和 6 年能登半島地震・奥能登豪雨による被災家屋等の自費解体による費用償還の申請の受付をしています。

自費解体による費用償還の申請は令和 7 年 10 月 31 日まで受付しておりますが、解体およびそれによって出た廃棄物の処理まで完了した状態でないと申請できませんので、解体を希望される方は「お早めに」相談・申請をしてください。

- 受付期間 自費解体 令和 7 年 10 月 31 日（金）まで
- 受付窓口 すず市民交流センター 2 階

■問い合わせ 環境建設課環境係 ☎ (82)7743 / (84)5234

**珠洲の復旧・復興のため、たくさんの仲間がかけつけました
市役所に中長期で応援に来ている職員を紹介します！**

環境建設課（農業災害班）

農地や農業用施設の復旧業務を担当しています。



環境建設課（災害廃棄物処理班）

復旧・復興の礎を築きます！



珠洲のみなさん、よろしくお願ひします！

珠洲都市計画下水道の変更に伴い、浄化槽の設置が必要となります

下水道区域変更と 浄化槽設置への 転換

令和6年能登半島地震により被災した下水道事業計画における珠洲処理区の一部、宝立処理区、若山処理区については、個別浄化槽の設置による復旧を進めます。



申請書を対象世帯に送付しています。
浄化槽の設置が必要となる方は記入の上、提出してください。

宝立地区

仮設の浄化槽を設置しており、水道も使用されている方

市で浄化槽の工事についての調査業務を発注し、工事についても順次進めていきます。

新築やリフォームでこれから浄化槽を設置し、水道を使用される方

申請受付後、こちらで調査を行います。現地での立会いをお願いします。

※現在、市に対して、設置希望を伝えてある方も、添付書類（図面、土地登記事項証明書）の提出が必要なため、申請書を提出してください。

既に浄化槽を使用されている方

地震や、豪雨などで浄化槽に被災がなければ、そのままご使用いただけます。

若山地区

水道及び下水道（特環含む）を使用されている方

市で浄化槽の工事についての調査業務を発注し、工事についても順次進めていきます。

新築やリフォームでこれから浄化槽を設置し、水道を使用される方

申請受付後、こちらで調査を行います。現地での立会いをお願いします。

※現在、市に対して、設置希望を伝えてある方も、添付書類（図面、土地登記事項証明書）の提出が必要なため、申請書を提出してください。

既に浄化槽を使用されている方

地震や、豪雨などで浄化槽に被災がなければ、そのままご使用いただけます。

上記以外の方でも対象の区域で生活、または事業を行っている方は対象となります。申請書を提出してください。

■ 問い合わせ：上下水道強靱化推進室 上下水道係

5 広報すず 2025.9

☎ (82) 7786

区域・内容はこちら



7/14 (月) 7/29 (火) **母子保健推進員現任者研修会を実施**

7月14日、29日に研修会を行い、「珠洲市の母子保健事業の概要と母子保健推進員の役割」、「子どもの食物アレルギー」について学びました。

参加者はこれまでの育児経験や、ボランティアの経験のエピソードを踏まえて、活発に意見交換をし、学びを深めていました。

母子保健推進員は、健康増進センターで実施している子育て相談やママのためのほっとミーティング（MCG）に託児等で参加します。珠洲市で生活しているお子さんや保護者の方と交流できるのを楽しみに活動しています。



7/16 (水) **コウノトリのヒナが順調に成長しています**

兵庫県豊岡市でふ化した雌と、福井県小浜市で生まれた雄のコウノトリのつがい三崎町地内の電柱の上で営巣しているのが確認され、5月には珠洲市では初めての産卵が確認されました。

ひなは順調に成長し、7月16日には個体識別用の足環が装着され、遅くとも9月上旬までには巣立つ見込みです。

このコウノトリの営巣と産卵は、これまで本市が進めてきた、自然と共生する珠洲市に向けた取り組みの成果の一つと考えています。

なお、コウノトリは大きな音を嫌うことや、繁殖期に人が近づくと、巣作りや子育てに悪影響を与えることがあるため、巣には近づかず、静かに見守ってください。



寿 祝100歳

船橋てる さん

大正14年7月15日生まれ（宝立町）

お肉を食べること、編み物をするのが好きな船橋さん。泉谷市長が長生きの秘訣を聞くと「忙しくしていること」と答えていました。100歳おめでとうございます。



江差

282

**～江差で最も賑やかな3日間～
江差三大祭り「姥神大神宮渡御祭」を開催**

8月9日から11日の3日間にわたり、江差三大祭りの1つである「姥神大神宮渡御祭」が開催されました。

連日30度に迫る暑さに見舞われるも、豊作や豊漁、無病息災を祈念し、姥神大神宮の神輿（みこし）渡御に伴い、各町内の豪華絢爛な13台の山車（やま）が江差町内を練り歩きました。

10日には、子どもたちが夏休み中に練習したお囃子（はやし）（太鼓や笛）の成果を発表する「祭り囃子コンクール」が行われ、見事「楠（なん）公山（こうやま）（津花町）」が3年連続の優勝を飾りました。

11日の最後、新地町交差点前に13台の山車が集結する見せ場では、人が通る隙間もないほど沿道に押し寄せた観覧客を前に、それぞれの山車が独自のお囃子を披露。3日間の疲れを全く感じさせない一心不乱の盛り上がり、たくさんの観覧客もくぎ付けになっていました。

珠洲市と友好都市提携を結んでいる北海道江差町の話をご紹介します。



新地町交差点前での様子

議決事項

一般会計で 3億円を増額 市長提出議案2件を可決

可決された市長提出議案

予算

■一般会計

3億円を増額し、累計で1、085億8、049万7千円になりました。

内容

● 珠州市住まい再建支援金交付事業 2億円

● 珠州市伝統文化施設等整備支援事業 1億円

【そのほか】

■財産の取得について

予定価格2,000万円以上の財産の取得（大型トイレカー）について、議決を得ました。

市長提出報告

■損害賠償額の決定及び和解

市公用車による交通事故により個人所有の車両に損害を与えたため、その損害を賠償しました。

質疑

向山議員・堺議員の質疑について 泉谷市長が答弁

大型トイレカーの導入について

令和6年能登半島地震において、上下水道施設が被災し、市内全域で断水となったことから、各ご家庭だけでなく、避難所や公衆トイレにおいてもトイレを使用することができなくなった。こうした経験から、本市では、国の地域防災衛生環境整備事業を活用し、災害時に衛生的で安全なトイレ環境を確保するため、トイレカーを3台導入することとしている。

このうち、大型トイレカーの導入について、「株式会社モンテリオン」と2,393万6,241円で購入する契約を締結するにあたり、議会の議決をお願いする。

搭載設備として、車椅子利用者などに配慮した昇降リフトやエンジンを停止した状態でも使用できるようソーラーパネルも設置する。

このほか、断水時に河川やプールの水を使用するための浄水器も設置する仕様となっている。

トイレの数については、男性用は、小便器1基と大便器2基、女性用は、大便器2基、多機能用として、大便器1基とオストメイト1基であり、全て水洗式で、多機能用トイレ室内

には、おむつ替え台や手摺りを設置する。

清水タンクの容量は約760リットルで、汚物タンク容量は、約1,000リットルとなっており、使用状況にもよるが、約800回から1,000回程度をくみ取り無しで使用できるものとなっている。

なお、維持管理費については、通常かかる車検費用や設備点検費用、燃料費のほか、浄水器のフィルター代や水道代、くみ取り手数料などが必要経費となる。

今後は、災害時だけではなく防災訓練や各種イベントにも活用するとともに、これまで全国各地から多大なるご支援をいただいていたことから、内閣府が災害時における円滑な被災者支援の実現のため令和7年6月に運用を開始した災害対応車両登録制度に登録し、大規模災害が発生した際に派遣することで貢献していきたいと考えている。

珠州市伝統文化施設等整備支援事業について

珠州市伝統文化施設等整備支援事業については、本市の復興に向けて、各地域の祭りの復活が地域の皆様の前を向く力となり、また、地域コミュ

ニティーの再生につながると考えており、キリコや山車などの倉庫の新設、建て替えや修繕に対して、補助率10分の9、上限額3,000万円とし、期間を令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間として支援したいと考えている。

支援の対象者は、施設を維持・管理する自治組織等とし、支援の対象範囲を、倉庫の本体工事、電気・空調・衛生等設備をはじめとする付帯工事、外構工事、地盤復旧・改良工事、設計監理委託、建て替えに必要な解体に要する経費としたいと考えている。なお、原則として他の補助金との併用はできないこととしたいと考えている。

また、キリコや山車などについては、公益財団法人いしかわ県民文化振興基金において、祭り用具や保存庫等の修理・新調等に対して令和6年度から8年度までの3年間で最大150万円を助成する「地域の祭り再開支援事業」が創設されており、これ以外にも、地域の伝統行事や民俗芸能に係る用具の修理・新調等を対象とした文化庁の地域文化財総合活用推進事業があるので、ご活用いただきたい。

珠洲市の人事行政は市議会の議決を経た条例に基づいて運営されています。今回、市職員の任用や人事評価、給与、勤務時間などの運営状況を市民のみなさんに知っていただくため、令和6年度の概要をお知らせします。

なお、ここに掲載した給与などは、すべて税金や社会保険料などを差し引く前の額であり、いわゆる手取り額ではありません。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 任免

区分	人数
新規採用者	15 人
暫定再任用	5 人
退職者	45 人
暫定再任用のうち、退職した者	1 人

(2) 職員数

375 人

2 職員の人事評価の状況

勤務成績の評価	
評価対象	全職員
評価対象期間	4月1日～9月30日、10月1日～3月31日
評価領域	監督職、一般職、技能労務職の3区分により実施 ●業績（仕事の成果） ●能力（知識・技術、企画力、折衝・応対力、理解・判断力、指導力、迅速性） ●態度（規律性、積極性、協調性、責任感）
評価結果の反映	人事異動（昇任・配置など）の参考、指導育成の基礎資料、勤勉手当支給率、定期昇給

3 職員の給与の状況

(1) 職員給与費の状況

職員数 (A)	給与費				1人あたりの給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
375 人	1,385,557 千円	418,882 千円	550,280 千円	2,354,719 千円	6,279 千円

注) 職員手当には、児童手当と退職手当を含みません。

(2) 職員手当の状況

① 期末・勤勉手当

区分		
期末手当	6月期	1.225 月分
	12月期	1.275 月分
	計	2.500 月分
勤勉手当	6月期	1.025 月分
	12月期	1.075 月分
	計	2.100 月分

注) 職務上の段階、職務の級などによる加算 (5～15%) があります。勤勉手当には、成績率による加減算があります。

② 時間外勤務手当

支給総額	1人あたりの支給年額
172,196 千円	503 千円

③ 特殊勤務手当

支給総額	1人あたりの支給年額
94,282 千円	251 千円

④ 退職手当

支給総額	退職者1人あたりの支給額
248,552 千円	7,101 千円

4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間

8:30～17:15 (休憩時間 12:00～13:00)

注) 業務の性質により、上記の勤務時間によることのできない勤務箇所 (保育園、病院など) の勤務時間は別に定めています。

(2) その他の勤務条件

年次有給休暇	1 暦年につき 20 日 (20 日を限度に翌年に繰越可)
特別休暇	結婚休暇、産前休暇、産後休暇など事由に応じて付与
介護休暇	配偶者、父母、子などを介護する場合、6 月以内

5 職員の休業に関する状況

	育児休業	部分休業	育児短時間勤務
男性職員	2件	0件	0件
女性職員	7件	1件	0件

注) 令和6年度に新たに取得した者の人数です(再取得者を含む)。

7 職員のサービスの状況

(1) 時間外勤務および休日勤務の状況

1人あたりの年間平均時間外数	194.8 時間
----------------	----------

(2) 年次有給休暇の取得状況

1人あたりの年間平均取得日数	11.9 日
----------------	--------

注) 集計期間: 令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

注) 新規採用、退職、休職などの職員を除く

(3) 介護休暇の利用状況

1人あたりの年間平均取得日数	13.0 日
----------------	--------

9 職員の研修の状況

組織外研修	市町村職員研修所	初任者研修、地方行財政研修、ハラスメント相談の受け方研修など	14人
組織内研修	市長、総務課長など	新規採用職員研修	8人

10 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 福祉厚生制度の状況

区分	主な項目	対象者等	実施状況
健康管理事業	定期健康診断	全職員	363人(受診率98.37%)
	生活習慣病予防健診	40歳以上の全職員	239人(受診率99.17%)
	肺がん検診	希望者	101人
	大腸がん検診	//	49人
	胃がん検診	//	16人
	子宮がん検診	//	42人
	乳がん検診	//	37人
	C型肝炎ウイルス検査	//	22人
	前立腺がん検査	//	23人
	人間ドック検査	//	31人
	脳ドック検査	//	0人
	インフルエンザ予防接種	//	299人
	B型肝炎ウイルス検査	//	177人
	ストレスチェック	全職員(休職者除く)	334人(受診率96.53%)
厚生事業 (職員互助会にて実施)	自己啓発研修活動等助成	全職員	68千円
	宿泊施設等利用助成	//	0千円
	各種大会参加助成	//	0千円

(2) 公務災害の状況

認定件数	3件	
内訳	公務災害	3件
	通勤災害	0件

6 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分

件数	内容
46件	地方公務員法第28条第2項第1号(心身の故障)

(2) 懲戒処分

該当者なし

8 職員の退職管理の状況

令和6年度に課長級以上で退職した者の数	1人
うち再就職した者の数	0人
令和5年度に課長級以上で退職した者で新たに営利法人等に再就職した者の数	0人
① 公社等外郭団体	0人
② 非営利法人	0人
③ 営利法人	0人

11 珠洲公平委員会の業務状況

(1) 勤務条件に関する措置の要求の状況 0件

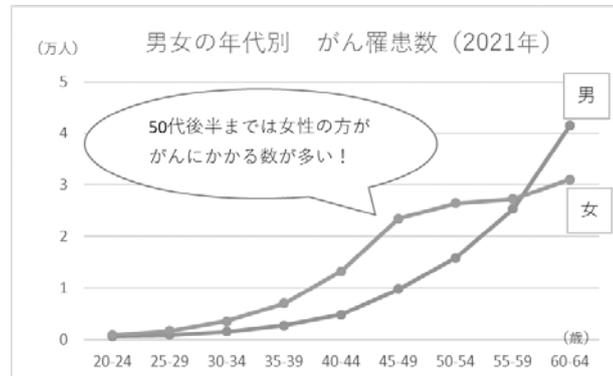
(2) 不利益処分に関する審査請求の状況 0件

子宮頸がん検診は 20 歳を過ぎたら、 乳がん検診は 40 歳を過ぎたら、 2 年に 1 回受診しましょう



女性は若くてもがんになる方が多いです。子宮頸がんは 30 代後半、乳がんは 40 代後半が発症のピークで、女性のがんは働き盛りに多いと言えます。

がん予防の基本である、禁煙、健康的な食事、運動といった生活習慣の改善に加えて、早期に発見するために定期的に検診を受けましょう。



■「レディースデー検診」締め切り間近！

女性がより一層安心して受診できるよう女性限定で検診を行います。ぜひ、この機会にご自身の健康状態を確認しましょう。

- 日 時 9月28日(日) …要予約
- 受付時間 9時から10時30分の間で指定の時間
- その他
 - ・検診スタッフは、女性とは限りません。
 - ・保育士による託児を行いますので、ご希望の方は検診日2週間前までに健康増進センターまで連絡してください。

～レディースデー検診受診者限定！リフレッシュ教室～

・各教室 20 分程度

○経絡からのセルフケア教室
講師 加藤 美紀 氏

○ワックスバー作り教室
(火を使わずに香りを楽しめる板状のキャンドル)
講師 古畑 峰花 氏
参加費 200 円

◎今後の検診日程 (会場：健康増進センター、受付：9時～10時30分の間で指定の時間)

実施日	一般 特定 後期 健康増進法	がん検診						骨粗しょう症	肝炎
		胃	肺	大腸	子宮	乳	前立腺		
9月28日(日)	●	●	●	●	●	●			●
10月2日(木)	●	●	●	●			●		●
10月11日(土)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10月24日(金)	●	●	●	●			●		●
11月3日(月・祝)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月16日(日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月28日(金)	●	●	●	●		●	●		●

←レディースデー検診

【検診の予約】

広報せず6月号と同時配布した黄色の「健診・がん検診のお知らせ」の申し込みはがきを検診日の14日前までに投函するか、または健康増進センターまで連絡してください。

■問い合わせ 健康増進センター ☎(82)7742

「メタボ」って知ってる？～9月は健康増進普及月間～

厚生労働省では、生活習慣病の特性や個人の生活習慣の改善の重要性について一人一人の理解を深め、さらにその健康づくりの実践を促進することを目的に、毎年9月1日から30日までの1か月間を「健康増進普及月間」と定めています。そこで今回は、メタボリックシンドローム（以下「メタボ」）についてお伝えします。「健康増進普及月間」をきっかけに、皆さんも健康づくりに取り組んでみませんか。

〈メタボってどんな状態？〉

メタボは、別名「内臓脂肪症候群」と呼ばれており、内臓脂肪の蓄積に加え、高血圧、高血糖、脂質異常のうち2つ以上を併せ持つ状態を指します。

メタボの診断基準

内臓脂肪蓄積

ウエスト周囲長（腹囲）
男性：85cm以上 女性：90cm以上
（内臓脂肪面積 100cm² に相当）

+

以下のうちいずれか2項目に該当

高血圧

最高血圧 130mmHg 以上
または
最低血圧 85mmHg 以上

高血糖

空腹時血糖 110mg/dl 以上
または
HbA1c6.0%以上

脂質異常

中性脂肪 150mg/dL 以上
または
HDL コレステロール 40mg/dL 未満

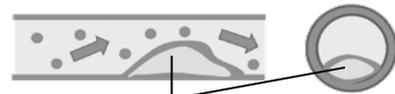
〈メタボが続くとどうなるの？〉

メタボ状態が続くことで、血管の壁に負担がかかります。血管に負担がかかる状態が長く続くと、血管内にLDL コレステロールや細胞が蓄積していきます（粥腫）。粥腫が蓄積することで血管が狭くなったり、粥腫が剥がれたりすることで血液の流れを塞いでしまうことにつながります。ちょうど古い水道管が汚れて詰まり、さびが剥がれやすくなるのと同じイメージです。この現象が心臓や脳の血管で起こると、心臓病や脳卒中などの命に関わる病気につながります。

正常な血管



狭くなった血管



コレステロールなど（粥腫）

〈今日から脱！メタボに挑戦してみよう〉

珠洲市では、令和6年度の特健診受診者の29.7%がメタボ該当者であり、県内で1番高い割合でした。また、県・国平均と比べて心臓病や脳卒中で亡くなる方の割合が高くなっています。自身の生活習慣を見直すきっかけとして、年に1度は健康診査を受診しましょう。

健康増進センターでは、保健師や管理栄養士などが生活習慣を見直すサポート（特定保健指導）を行っています。希望される方は、下記に連絡のうえ健診結果を持って来所してください。

メタボ改善のための生活習慣づくり

- ・体重を毎日測る ⇒ 体重の変動を知ることはメタボ改善の第一歩！
- ・朝食を食べる習慣をつける
⇒朝食を抜くと、昼食以降に血糖値が上がりやすくなる。朝食を食べることで内臓が目覚め、体内時計をリセット！なるべく早い時間（朝7時まで）に食べるのがおすすめ。
- ・21時以降は飲食を控える
⇒就寝前に飲食すると、エネルギーが余って脂肪になってしまう。
- ・座りっぱなしをやめる
⇒座っている時間が長いと、筋肉が動かないため代謝が低下し、肥満につながる。1日中座りっぱなしという人は30分に一度は立ち上がることを心がけ、こまめに動くようにする！
- ・適正飲酒（1日1合程度で週2日の休肝日）や禁煙にチャレンジする

9月1日は防災の日

防災の日は、1923年に発生した関東大震災に由来した日であり、台風シーズンを迎える時期でもあることから、防災への心構えを準備するという意味で創設されました。今一度、防災について考え、日頃の備えをお願いします。

■問い合わせ 危機管理室 ☎(82)7725

最低3日分の食料と飲料水を保管

災害時に備え、自宅で生活するうえで必要な飲食品や生活必需品を、日頃から備えておくことが大切です。普段から少し多めに食材を買い置きし、食べた分を買い足していく「ローリングストック」を心がけましょう。



非常用持出袋を用意

災害があったとき、すぐに持ち出せるように、玄関に非常用持出袋を準備しておきましょう。(持出し物品の例) ライト、レインウェア、軍手、タオル、マスク、薬、携帯ラジオ、歯ブラシセット、衣類、下着など



家具を転倒防止金具などで固定

地震の揺れにより重たい家具が転倒し、ケガをする、または出口までの経路をふさいでしまうことを防ぐため、重たい家具を転倒防止金具で固定しましょう。



事前にハザードマップを確認

すぐに避難できるようハザードマップを確認しておきましょう。仮設住宅にお住まいの方も含めて近くの避難場所までどれくらい時間が必要かを歩いて確認しておくことも大切です。ハザードマップは、珠洲市のホームページで確認できます。



珠洲市 ハザードマップ

検索

珠洲市総合防災訓練

■日時 10月5日(日) 9時～

■対象 市内全域

大地震が発生し、津波や土砂災害の危険性が高まっているという想定で避難訓練を実施します。各家庭で避難場所や避難経路の確認をお願いします。当日は、防災行政無線の放送が聞こえたら避難を開始してください。

令和6年奥能登豪雨犠牲者追悼献花のお知らせ

令和6年の豪雨災害で亡くなられた方々を追悼するため、大谷公民館の会場に献花台を設置します。

開場中はどなたでも自由に献花できます。

日時 令和7年9月21日(日) 9時～15時

会場 珠洲市立大谷公民館 講堂

9時30分に黙とうをささげます。

「ちょこっと健康体操」を放送します

仮設住宅の中や自宅の部屋の中など、限られた狭い場所でも簡単にできるオリジナル体操「ちょこっと健康体操」を作成しました。体操は6種類あります。ストレッチ、筋力強化、脳トレ(認知症予防)の効果が期待できる内容で、1種類につき2～4分程度の簡単なものです。

ケーブルテレビをご利用の方は、9月から順次放送が開始されます。また、各公民館や一部集会所には、動画を収録したDVDを設置します。簡単な運動でも、日々の積み重ねがとても大切です。ぜひ、ご視聴ご利用ください。

■問い合わせ 地域包括ケア推進室

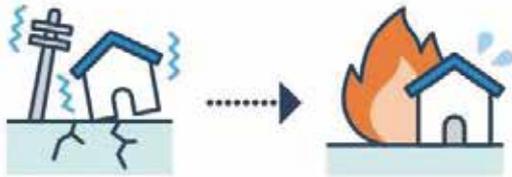
☎(82)7746

感震ブレーカー設置費用を補助します

感震ブレーカーで

地震による火災を防ぐ!

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して自動的に電気を止めることで、電気火災を防ぐ器具です。
主に4種類あり、ご家庭の状況に応じて選べます。



電気火災は地震のあとにも起きる

地震では、停電復旧時の通電が原因で火災が起きることがあります。

感震ブレーカーは、不在時でも自動で電気を止めて火災を防ぎます。

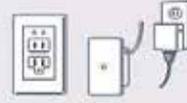
感震ブレーカーの主な種類



分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

種類	補助率	補助上限額	備考
分電盤タイプ (内蔵型・後付型)	購入・ 設置費用の 2分の1	3万円	「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、感震機能付住宅用分電盤認定制度の認証を受けたもの 
コンセントタイプ		3千円	「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、消防防災製品等推奨制度の認証を受けたもの 
簡易タイプ			

補助対象者

- ① 県内の戸建て住宅・共同住宅等に居住している方
(各賃貸住宅含む)
- ② 賃貸住宅(戸建て住宅・共同住宅等含む)を所有する方

※新築時の設置も対象

※町内会やマンション管理組合等による一括申請も可能



■問い合わせ 石川県危機管理部消防保安課 消防グループ
☎076(225)1481
Mail shobohoan@pref.ishikawa.lg.jp

詳しくは
こちら



認知症になってからも、 住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるまちをめざして

9月21日は認知症の日

認知症基本法が施行され、2024年から毎年9月が「認知症月間」、9月21日が「認知症の日」と定められました。この機会に、認知症への理解を深めましょう。

■なぜ、オレンジ？

オレンジ色は、日本の認知症支援のシンボルカラーです。

江戸時代に活躍した陶工・酒井田柿右衛門が、夕日に映える柿の実のオレンジ色から着想を得て作り出した赤絵磁器は、海外に輸出され、世界中で高い評価を受けました。日本の認知症支援・普及活動も、この「柿色」のように世界中に広まってほしいとの願いを込めて、オレンジ色がシンボルカラーになっています。また、暖かさを感じるオレンジ色は、「手助けします」という意味をもつと言われていました。

■認知症の人はどれくらいいるの？

2022年の調査では、高齢者のうち、認知症の人は約12%、認知症の前段階といわれる軽度認知障害（MCI）の人は約16%と推計され、両方を合わせると、3人に1人が認知機能に関する症状があるとされました。このように、認知症は誰もがなり得る身近なものです。

■認知症の主な種類

①アルツハイマー型認知症

長い年月をかけてアミロイドβ等のタンパク質のゴミが脳内に蓄積し、神経細胞が壊れ、脳が萎縮することで生じる認知症です。初期では、昔のことはよく覚えていますが、最近のことは忘れてしまいます。進行すると、時間や場所がわからなくなったり、状況に応じた判断が難しくなったりします。

②血管性認知症

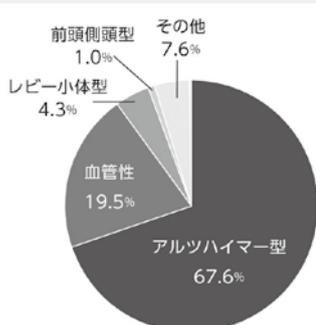
脳梗塞や脳出血などにより、神経細胞に十分な栄養や酸素がいき渡らなくなり、その部分の神経細胞が壊れることで生じる認知症です。高血圧や糖尿病などの生活習慣病が主な危険因子で、障害を受けた部位によって症状が異なります。

③レビー小体型認知症

「レビー小体」という異常なタンパク質が脳内に蓄積し、神経細胞が壊れることで生じる認知症です。現実には見えないものが見える幻視や、手足が震えたり筋肉が固くなったりといった症状が現れます。歩幅が小刻みになり、転びやすくなります。

④前頭側頭型認知症

脳の前や横の部分で、神経細胞が減少して脳が萎縮することで生じる認知症です。感情や行動を抑えられなくなるため、怒りっぽくなる、我慢できなくなる、ルールを守れなくなることがあります。



認知症で最も多いのはアルツハイマー型認知症ですが、認知症は種類により特徴が異なります。また、認知症でなくても認知症の症状を引き起こす別の病気もあります。早期診断・早期治療が大切です。「もしかして認知症？」と思ったら、一人で悩まず医療機関や下記まで相談しましょう。

引用：HP 政府広報オンライン

厚生労働省「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能への障害への対応」（平成25年5月報告）から政府広報室作成

問い合わせ 地域包括ケア推進室 ☎(82)7746

9月10日(水)～16日(火)は自殺予防週間

令和6年の自殺者数は20,320人で、前年と比べ1,517人減少しています。男女ともに減少しており、男性は3年ぶりの減少、女性は2年連続の減少となっています。男性の自殺者数は、女性の約2.1倍の状況です。

災害後のこころの動き

令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨を経験し、多くの方が大きなストレスを受けています。大きな災害の後、こころのバランスを崩して気持ちが不安定になることは、ショックな出来事に対する正常な反応です。多くの場合、こころは時間をかけて回復へ向かっていきます。しかし、災害発生から2か月～1・2年経過する頃は「幻滅期」といって、被災者の疲れがピークとなり、トラブルや心身の不調が現れやすいといわれています。

こころの健康を守るためにできること

質のよい睡眠

十分な睡眠をとることは、こころとからだの健康を維持するための基本です。快適な睡眠をとるために次の生活習慣を取り入れてみましょう。

- ①朝起きたら朝日を浴びる
- ②定期的な運動習慣
- ③夕食は腹八分目で寝る3時間前までに済ませる
- ④寝る前にカフェインが入った飲み物（コーヒーなど）は避ける
- ⑤お酒を飲みすぎない

リラックス

リラックスすると、「心配な気持ちが軽くなる」「身体がなんだか楽になる」「眠りやすくなる」といった効果があります。

<誰でもできる！簡単リラックス方法3選>

①温罨法（温める）

- ・40℃くらいのお湯が入ったペットボトルをタオルに包み、お腹などを温める。
- ・温かいタオルで目を温める。

②ストレッチ

- ・手で足先をつかみ、足首をグルグル回す。
- ・顔を傾け、ゆっくり気持ちいい所まで手で引っ張る。

③腹式呼吸

- ・お腹を膨らませるイメージで、鼻から息を吸い、お腹をへこませるイメージで、口から息を吐く。（目をつむって、ゆっくりと行う）

コミュニケーション・話を聞いてもらう

「話を聞いてもらうだけで安心した」という方もいるくらい、自分の状況を言葉にして身近な人に聞いてもらうことは、想像以上に安心感を得ることができます。

身近な人と相談するだけでは解決が難しかったり、なかなか回復しないと感じたりするときは地域の相談窓口や専門家に相談しましょう。大切なのは、一人で解決しようと抱え込まないことです。

あなたを支える相談機関

こころの健康に関する相談	
健康増進センター	☎ (82) 7742
能登北部保健福祉センター	☎ 0768 (22) 2012
石川県こころの健康センター	☎ 076 (238) 5750
石川県こころのケアセンター	☎ 0120 (333) 247
石川県こころの相談ダイヤル	☎ 076 (237) 2700 平日9時～17時
	☎ 0570 (783) 780 平日夜間・休日

～くらしと心の無料法律相談～

金沢弁護士会による無料法律相談を実施します。お金・家族・職場のトラブルなど、どなたでも無料で相談できます。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

- ▶日 時 令和7年9月19日(金) 13時30分～16時
- ▶場 所 珠洲市社会福祉協議会
- ▶予約先 珠洲市社会福祉協議会 ☎ (82) 7751



今月のお知らせ

案内・お知らせ

クラウドファンディングを活用した復興支援

能登の創造的復興に資する取組を後押しするため、クラウドファンディングにかかる経費の一部を助成します。

▼助成対象 創造的復興に資する取組

▼助成率 2/3以内(上限額100万円)

詳しくはホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

■(一社)能登官民連携センター

☎0768(23)4681



珠洲市住宅等太陽光発電システム設置費補助金(一部改正)

▼主な改正内容

1. 着工前の事前申請から、工事完了後の事後申請に変更
2. 施工業者が市外事業者の場合も補助対象

※令和6年1月1日から令和7年7月22日までの期間にシステムの設置が完了した方は、遡って申請が可能です。

▼申請期限 令和8年3月31日

【問い合わせ】

■企画財政課

☎(82)7716

ご厚志ありがとうございます
8月18日 受付分まで (敬称略)

原田みどり(総合病院)
おくすり手帳 50冊

水道メーターを取り替えます

みなさんの家庭に取り付けられている水道メーターの中で、間もなく有効期限が切れるメーターを次の期間中に取り替えます。

取り替えによる費用負担はありませんが、工事中は、10分から15分間ほど断水となりますのでご了承ください。

対象となる家庭には、市から委託を受けた業者が伺います。

▼期間 9月上旬～10月下旬

▼対象メーター 設置から間もなく8年が経過するもの

※水道の使用開始手続きが行われていないものは撤去します。

【問い合わせ】

■上下水道強化推進室

☎(82)7785

輪島税務署からのお知らせ

年末調整手続きを電子化して業務を効率化しませんか

間もなく年末調整の準備・手続の時期となります。書面で手続を行っている事業者の方は、ぜひ、電子化をご検討ください。事業者の方だけでなく従業員の方にも多くのメリットがあります。

【問い合わせ】

■年末調整手続の電子化および年調ソフトヘルプデスク(10/1から開設)

詳しくはこちら



☎0570(02)4563

今月の納期

国民健康保険税第3期
後期高齢者医療保険料第6期
納期 9月30日(火)

市議会9月定例会

■会期 9月2日(火)～9月19日(金)

■場所 市庁舎5階 議場

傍聴を希望する方は、本会議当日に市庁舎5階の傍聴者受付で手続きを行ってください。受付は開会の約30分前から。YouTubeやケーブルテレビでも議会中継をご覧ください。

珠洲市議会

検索

■議会事務局 ☎(82)7797

本会議日時	議事内容
9月2日(火) 15時～	開会、市長提出議案等一括上程・説明
9月9日(火) 10時～	質疑・一般質問、議案等常任委員会付託
9月19日(金) 15時～	各常任委員会審査結果報告、質疑・討論、議案等採決、閉会

イベント

『cinema bird 石川県奥能登』開催

- 俳優・映画監督として活躍する斎藤工さんが立ち上げた、日本中を旅する移動映画館
- ▽日時 10月4日(土)
14時～18時
- ▽場所 ラポルトすず
- ▽定員 400人
- ▽内容 映画上映やお笑いLIVEなど(企画内容は変更となる場合がございます)
- ▽応募方法 次の場所で、整理券を配布しています。
・珠洲市観光交流課
・すず市民交流センター1階(ラポルトすず)
- ※名簿に来場予定者の氏名・性別を記入していただきます。
- ▽主催 cinema bird in 石川県奥能登実行委員会
- 【問い合わせ】
☎(82)7776
- 観光交流課

募集

能登産業技術専門学校 訓練生を募集

- 令和7年度の後期訓練生を募集します。
- ▽訓練期間 6か月【10月1日(水)～令和8年3月13日(金)】
- ▽募集科目・定員
●造園科20人 ●建築科20人
●O A科10人 ●情報ビジネス科10人
- ※教科書代などの自己負担があります。
- 受講希望者は、9月8日(月)までに「最寄りのハローワーク(公共職業安定所)へ申し込んでください。
- 【問い合わせ】
能登産業技術専門学校
☎0768(72)0184
- 

講座・教室

珠洲焼の干支(午)作り

陶芸センターでは、珠洲焼の「干支(午)作り」の参加者を募集します。

- ▽日時 9月14日(日)
9時～12時
- ▽場所 陶芸センター
- ▽参加費 1,500円
- ▽定員 24名
- ▽申込期間 9月2日(火)～13日(土)

▽その他 汚れてもいい服装またはエプロンを着用し、手拭きタオルを持ってきてください。

【申し込み・問い合わせ】
陶芸センター
☎(82)3221

「オヤジずむ」 レーザークラフト ワークショップ

- ▽対象 要介護認定を受けていない65歳以上の男性
- ▽日時 9月17日(水)
13時30分～15時
- ▽内容 レザークラフトワークショップ
- ▽場所 産業センター2階会議室

▽定員 20名

▽申込期限 9月12日(金)

※参加者には元氣ポイント10ポイント進呈

【申し込み・問い合わせ】
地域包括ケア推進室

☎(82)7746

ポリテクカレッジ石川 オープンキャンパス

石川職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ石川)では、企業で即戦力となるテクニシャン・エンジニアを育成しています。学生たちは多くの県内優良企業に就職し、ものづくり産業を支えています。オープンキャンパスでは、魅力をお伝えするプログラムを用意しております。この機会に、ぜひ参加ください!

- ▽日時 ○9月13日(土)
9時30分～12時、13時～15時30分
- ▽場所 北陸職業能力開発大学校(富山県魚津市)

▽内容 学校説明(詳しくはこちら) 施設見学 体験授業など



【問い合わせ】

ポリテクカレッジ石川学務援助課
☎0765(23)0169

いきいき 脳 健康教室

自主活動グループ募集

公民館や集会所などで、いきいき脳健康教室を実施したいグループを募集します。「簡単な計算をしているとき」「本を音読しているとき」に脳血流が活発になることが分かっています。週に1回集まって、ドリルや音読をしながら楽しいひとときを過ごしませんか。

- 対象 65歳以上の方で構成する10人程度のグループ
- 期間 令和7年10月～令和8年2月までの希望の期間
- 自己負担 1,000円/人(使用教材費の一部)
- 申込締切 9月22日(月)
- 申し込み 地域包括ケア推進室 ☎(82)7746

※申し込みが多数の場合、希望に添えないことがあります

新 CIR (国際交流員) イーサン・テイラーさん

まずは自己紹介！

珠洲市の皆さん、はじめまして！新しい国際交流員のイーサン・テイラーです。名前を短縮すると「ET」になって、英語で「宇宙人」という意味もあります。日本語で言うところの「イーサンさん」になります。どちらでも面白いですね。とにかく、「イーサン」と呼んでください。出身はアメリカのカリフォルニア州です。カリフォルニア州内の広さと気候を分かりやすく例えると、一週間の春休み旅行で、雪がコンコンと降っている寒い場所から40度の暑い砂漠までカリフォルニアの中で全て旅行できるくらいです。僕は今年の5月にカリフォルニア州立大学チコ校を卒業してから珠洲へ来るまで消防飛行機を整備する仕事をしていました。大学で三年間人文科学を学んだあと、長野県の信州大



学で一年間交換留学をしました。その時、海外と日本を繋げる貴重な経験をしたことがあります。今回も珠洲市の皆様との繋がりを作れるように努力します。

珠洲の印象は？

珠洲に着いてすぐに、懐かしい鯛(ひぐらし)の鳴き声が聞こえました。日本で初めて聞いたのは松本から新潟県までの自転車旅行を終えたときでした。珠洲に着いた時、鯛(ひぐらし)の声にとても安心しました。こんなに綺麗な緑と海岸がある町は素敵だと思います。是非珠洲を一周してみたいです。

どんな活動をしていきたいですか？

信州大学留学中に災害支援ボランティアとして、能登地

域で活動した経験があります。これから色々な活動で市民の皆さんと貴重な思い出を作りたいと思います。いつでもどこでも珠洲市の皆様との繋がりを作って応援できたら嬉しいです。皆さんに「イーサンがいて助かった」と言ってもらえるようになったら大成功だと思います。今までの多文化経験を皆さんに伝えてみたいと思います。もちろん、まだ珠洲に来て一週間しか経っていないので成長する余裕はまだありません。僕を見かけたら、是非声をかけてください。皆さん、これからよろしくお願ひします。



奥能登絶景海道カレンダー 2026 写真募集中！

奥能登絶景海道カレンダー2026年版を飾る珠洲市の風景などの写真を募集します。みなさんの「とっておきの一枚」をお待ちしています！



- 募集内容 珠洲市内の風景・行事などの写真
- 募集期間 9月24日(水)まで
- 応募方法 必要事項(作品名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号)を添えて、郵送またはメールでご応募ください。
- 採用特典 完成したカレンダーと記念品
(応募規定の詳細は「奥能登絶景海道」ホームページをご確認ください)
- 問い合わせ
奥能登岬みちづくり協議会(観光交流課観光推進係)
☎(82)7776 ✉kankou@city.suzu.lg.jp

おじいちゃん おばあちゃん の似顔絵展



「敬老の日」にちなみ、市内小中学生から募集したおじいちゃんやおばあちゃんの似顔絵の入賞作品を展示します。小中学生の力作をぜひご覧ください。

- 期間 9月16日(火)正午～
9月30日(火)
- 場所 珠洲市役所1階 市民ロビー
- 問い合わせ 教育委員会事務局生涯学習係
☎(82)7826

珠洲市民図書館

知りたい！ 学びたい！



楽しみたい！ に、こたえます！



～ 珠洲市民図書館 ～

開館時間：午前9時～午後6時30分

休館日：月曜日・祝日・年末年始

☎(82)3377

珠洲市民図書館では、さまざまな企画を準備中。講座やイベント情報は、図書館だよりや館内のデジタル掲示板でお知らせしています。

おはなし会

読み聞かせボランティアによるおはなし会。経験豊富な読み手による絵本の読み聞かせに、ひきこまれること間違いなし！

▽日時 9月6日(土)

10時30分～

▽読み手 「じんぐりの会」のみなさん

今月のトピック展示

上旬…「防災」

下旬…「〇〇の秋」

をテーマに本を集めました。

えほんとかみしばいのよみかせ

幼児から就学前のお子さんにおすすめ！参加したお子さんには、カードにスタンプを押します。たくさん集めるとすごいことがあるかも!?

▽日時 9月13日(土)

10時30分～

▽テーマ 『おじいちゃん・おばあちゃん』



さまざまな朗読会

小説や詩を耳から味わう朗読会。「静かに読書」とは一味違う、本の楽しみ方を体感しませんか？

▽日時 9月20日(土)

14時～

▽読み手 すぐ朗読文芸ラドリオのみなさん

▽朗読作品

野坂 昭如／著

『火垂るの墓』より

新美 南吉／作

『狐』 ほか

上映会 「シアター図書館」

土曜日は子ども向け、日曜日は大人向けを上映します。

子ども向け

▽日時 9月27日(土)

① 10時30分～

② 13時～

③ 15時～

連続上映しています

▽内容 「シルバニアファミリー」のハッピーダイアリー(7分)

・・・シルバニア村の仲間たちが繰り広げる小さな事件を描く。

大人向け

▽日時 9月28日(日)

① 10時30分～

② 14時～

▽内容 「明日に向かって笑え！」(16分)

・・・アルゼンチンの田舎町。農業施設復活のため貯金を出し合い銀行に預けた住民たち。金融危機で預金は凍結、銀行と弁護士に騙されて無一文に。財産奪還のため、住民たちのベンジ作戦が始まる！

宝くじの助成金で 除雪機を整備



一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を行っています。

珠洲市では、この事業を活用し地域づくりを進めており、今回は右記を整備しました。

■企画財政課 ☎(82)7716



若山町宗末区
【除雪機】



珠洲市親子議会が8月8日に開催され、小中学生13人が市政全般について質問しました。
ここでは、小中学生の質問と市長答弁の内容を紹介します。

▼安全な宝立の海の復活に向けて

宝立小中学校6年 地原 凜



たくさんの友達が転校し、町並みも大きく変わってしまったが、私たちの生活は少しずつ元に戻ってきている。人がまた宝立町に戻ってくるには、宝立七タキリコまつりが今まで通り開催される必要がある。そのためには、キリコをかついで安全に海へ入れるよう、見附島付近の浜や海の中の整備が必要になる。私たちだけではできない、浜や海の中の整備や安全確保などを珠洲市として行う予定はあるか。地震前のような町に少しでも戻るようお願いする。

【市長答弁】

昨年元日の能登半島地震により、宝立町鶴飼地区や春日野地区では、津波も押し寄せ、特に大きな被害が生じた。見附島も形が変わってしまった。こうした中、8月2日に宝立七タキリコまつりが開催されたことは、宝立町の復興への大きな力となったと感じている。宝立七タキリコ祭り復興プロジェクト実行委員会では、能登復興応援基金を活用し、今後2年間で計画を進めることとされている。計画では、新たに大キリコ1基を造り、被災を免れ今回使用した大キリコと合わせ、2基を収納できる保管庫を令和9年中に整備することとされている。新たに建設される保管庫は、その屋根の部分が見覧席となり、観光客の皆様には七夕祭り等を楽しんでいただけるよう、見付公園駐車場内に建設する予定とされている。また、海中乱舞の復活については、これまで海へ出入りしていたところには、新たに海岸堤防が整備される予定であることから、どの場所であれば実現できるか宝立七タキリコ祭り復興プロジェクト実行委員会の皆様や関係の皆様とともに考えていきたい。

なお、現在、国による護岸工事や見附島の渡り石の設置などの復旧工事を進めているが、今のところ、海の中の安全性は確保できていない。今後、見付海水浴場の再開に向けても、海の中の対策に取り組む必要があると考えている。

珠洲市としても、宝立七タキリコまつりの復活は、宝立町のみならず、珠洲市の復興の象徴となることから、宝立町の皆様とともに、復活に向けてともに取り組んでいきたいと考えている。

▼珠洲市の復興に向けた音楽祭の開催

上戸小学校6年 三上逢海



私は珠洲市のみんなが笑顔になれるようなイベントとして「奥能登音楽祭」の開催を提案したいと考えた。音楽祭は、珠洲市の美しい自然や観光スポットを生かした場所を会場にして、多くの人が気軽に参加できるようにしたいと考えている。珠洲市の文化を多くの人に知ってもらいたいし、絆も深めたい。音楽祭を通じて、元氣や希望を取り戻し、これまで支援していただいた多くの方に感謝の気持ちを伝えることもできると思う。

【市長答弁】

昨年元日の能登半島地震から、1年7か月が経過したが、これまで、ラポルトすずをはじめ市内各地で、アーティストによるチャリティーコンサートや、様々な音楽イベントが数多く開催されてきた。音楽は、被災された市民の皆様への心の癒しとなり、希望を感じることができると感じる。復興に向けて大きな力があると感じている。
また、現在も、復興支援としての音楽イベントの開催について、多くの団体からお話をいただいているし、泉谷しげるチャリティーコンサートや、NHKのご自慢も開

催される予定となっている。

さらに、8月14日には、太鼓と踊りの夕べ、8月23日には、珠洲市青年協議会主催のがんばろう能登！珠洲のご自慢大会が開催される予定であり、珠洲を愛する、能登を元氣にしたい方が参加できる企画となっている。

ご支援いただいた方々への感謝の想いを伝える野外での珠洲市の復興に向けた音楽祭の開催は、とても素敵なおアイディアだと思う。珠洲市には、珠洲吹奏楽団や、民謡、合唱などの団体が活動しているので、ご協力をいただき実現できないか珠洲市音楽文化協会や各団体の皆様とともに考えていきたい。

▼空き地を利用した複合施設の整備

飯田小学校6年 宮下佳子



今回の震災によって、転校した友達も私自身も珠洲市が大好きで、珠洲市の人口減少がそのまま進んでしまったらと思うと、とても心配である。そこで、人口減少を防ぎ、多くの人に珠洲市に来てもらうためにはどうしたらよいかを考えた。お店が減り、営業時間も短くなっていること、子どもたちが安全に遊ぶことのできる場所がないことの2つの問題が出てきた。

問題を解決するためには、解体が終わった後の空いた土地を利用して、シーサイドのような複合商業施設を作るといったことである。安心して体を思いっきり動かせる広い遊び場があれば、子どもも大人も、地域の人たちと触れ合える憩いの場になると考える。またお店が増えれば、仕事がなく珠洲市を離れてしまった方も戻ってきてくれるきっかけになるかもしれない。いつでも買える物ができ、人が集まる魅力的な珠洲

市になると考える。

昨年元日に能登半島地震が起きる前から珠洲市の最大の課題は人口減少であり、地震の後、さらに厳しい状況となっている。

人口減少を防ぐためには、復旧・復興を進め、魅力ある珠洲市を取り戻すこと、また、お店や会社の再開、再建を進め、働く場所を増やすことや子ども達が遊ぶ場所の確保が重要であると考えている。お店や会社の再開については、道の駅ずすなりのところに飲食店の仮設店舗を、正院町にはお菓子屋さんや床屋さんが入る仮設店舗を整備している。また、お店や会社の再開に向けて、石川県なりわい再建支援制度が設けられている。この支援制度を活用され、再建されたお店や会社も少しずつ増えてきた。珠洲市としても、このなりわい再建支援補助金に上乗せして支援を行っており、働く場所の確保にも努めていきたいと考えている。

次に、子ども達が遊ぶ場所の確保については、旧夢つづきにおいて、これまでで支援をいただいていた特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンによる、子ども達が自由に遊び、学び、交流できる親子の活動・交流の拠点が8月10日にプレオープンし、様々なイベントの開催が予定されている。また、飯田高校下には、令和9年度中の完成を目指して屋内交流施設を整備することとしており、子ども達が安心して活動できる遊び場の確保に努めていきたいと考えている。

なお、復興に向けた複合商業施設などについては、地域の皆様と、「新たなまちのかたち」の議論を重ねる中で、ともに考えていきたい。

▼珠洲市の元気な姿や感謝の思いの発信

直小学校6年 松田蒼汰

発災以来、県内だけでなく、全国からご支援いただき、復旧、復興の作業が進められている。おかげで



私たちは毎日普通に学校に行き、安心して日々の生活を送ることができている。本当に嬉しく、毎日感謝しているが、私たちが感謝していることが、これまで支えてくださった方々に伝わっているのだろうか。私たちは感謝の思いを多くの方々に届けたいので2つ提案がある。

1つ目は、私たちの元気な姿、感謝のメッセージを伝えるための動画を発信すること。メッセージ動画を広く募集し、例えば、珠洲市のホームページに、「盛り上がるよ！珠洲市！」等のコーナーをつくればどうか。2つ目は、「復旧・復興イベント」の開催である。イベントのアイデアを考え、「珠洲に希望と復興祭り」「珠洲元気・笑顔・フェスティバル」「里山里海珠洲音楽祭」などイベントで私たちの元気な姿、感謝の思いを伝えてはどうか。

「市長答弁」

昨年元日の能登半島地震により大きな被害が生じ、9月の奥能登豪雨でさらに被害が拡大したが、こうした中、昨年8月には、馬縹町の砂防祭り、地域の皆様とボランティアをはじめとした支援者の方々が力を合わせ開催され、9月には蛸島、正院、寺家の秋祭りもできる限りの開催をされた。さらに、今年の5月4日には、大谷鯉のぼりミニフェスティバルが支援者の方々のご協力もあり開催され、賑わいが生まれたことで、復興への大きな希望につながったと感じている。また、6月6日には、大阪・関西万博において、馬縹のキリコ祭りを披露していただき、復興に向けて頑張る姿を

世界に発信していただいた。7月20日・21日に飯田燈籠山祭りが行われ、8月2日には宝立七夕キリコまつりが2年ぶりに開催され、地域の皆様の復興にかける強い思いが伝わったと思う。

こうした珠洲市の復興に向けた祭礼やイベントについては、多くのマスコミによる報道やYouTubeをはじめとするSNSで広く発信されていると考えているが、珠洲市のホームページでも発信することができないか考えていきたいと思う。

なお、支援していただいている皆様に感謝を伝えるイベントとしては、今年2月に道の駅ずすなりですすな感謝祭が開催され、あんこう鍋が振舞われ、大勢の方がお越しになられた。また、今後、食祭珠洲まるかじりなどのイベントを通じ、支援者の皆様への感謝の気持ちを伝える機会を設けたいと考えている。

今後も、地域の祭礼が実施できるよう支援を行うとともに、様々なイベントの開催に向けて市民の皆様とともに取り組んでいきたいと考えている。

▼「人」が集まる珠洲市にするために

若山小学校6年 坂東伊緒



復興のために必要なのは「人」だと思ふ。来たい住みたい、住み続けたいと思う人を増やすことが大切だと考えた。そういった人たちを増やすために珠洲市が力を入れなければいけないのは観光業ではないか。珠洲市には、豊かな自然や伝統的な祭り、おいしい食べ物など観光客を集められる魅力がたくさんある。しかし、現在観光客が宿泊できる施設がなく、来たいと思っても来ることができない人があるのではないか。そこで私たちは新しくキャンプ場を作ること提案する。

若山には綺麗な山や川がある。また地震後空き地や使われなくなった田んぼだった土地がたくさんあるので、そこにキャンプ場を作ること、自然を楽しめ、旅行の楽しみも広がるのではないか。キャンプ場の建設はホテルの建設よりも費用や時間がかからず実現しやすいと考えた。さらに、キャンプ場に併設して自然を活かしたアスレチックや公園、スキー場などを作ること、子ども達の遊び場がないという今の珠洲市の課題の解決にもつながると思う。私たちのキャンプ場を作るといふ提案は珠洲市の行政を行っているみなさんの目から見て、実現可能か。また、現在珠洲市では観光客を増やすためにどのような取り組みをしているか教えてください。

「市長答弁」

現在、珠洲市内の宿泊施設では、食事の提供がなされていないところが多く、観光客の受け入れが十分にできていない状況となっている。また、現在、宝立町の見付園地野営場では一般の方の受け入れを行っており、木ノ浦健民休暇村野営場では7月1日から8月31日までの期間で営業している。このほか、蛸島町の鉢ヶ崎オートキャンプ場は、一般の方の受け入れは行っていない。なお、宝立町の見付園地のアスレチックや珠洲鉢ヶ崎健康運動広場の巨大遊具施設があるが、いずれも地震で被災しており、来年3月末の完成を目指して復旧工事を進めていきたいと考えている。今後、こうした施設を活用し、交流人口の拡大に向けて取り組んでいきたいと考えている。若山町も地震や豪雨で大きな被害が生じたが、キャンプ場を整備するのにふさわしい魅力的な場所があるのではないかと考えている。珠洲市としても、今後、新しい観光の場たちをつくっていく必要があると考えている。(次ページに続く)

り、そのためにも、道路や川などの復旧工事を進めるとともに、地域の皆様とともに考えていきたいと思う。なお、現在、珠洲市として行っている観光客を増やすための取り組みについては、旅行会社に能登を応援するツアーを造っていただき、道の駅ですなりでお買い物をして、復興を応援していただいているほか、奥能登国際芸術祭の常設作品を巡っていただく取り組みも行っている。

さらに、今後の取り組みとしては、石川県と連携し、「いしかわ震災学習プログラム」として、能登半島地震によって被災した緑剛埼灯台のレンズや、隆起した外浦海岸、見附島などをご覧いただく修学旅行や被災地ツアーの誘致にも取り組んでいきたいと考えている。

▼元どりに戻った道で鼓笛パレードを行いたい

正院小学校5年 谷内前咲春

正院小学校では、6月1日に創立記念鼓笛パレードを行った。正院町のたくさんの方に「がんばってね！」と応援されて、笑顔と拍手をもらいながら、2年ぶりに正院町の中を鼓笛演奏しながら、行進することができた。全校児童は10人だが、地域の方に、笑顔と元気で希望を届ける演奏ができて、最高のパレードだったなと思った。気になっていることがある。それは道路にはまだ凹凸があり、歩いていると転びそうになったり、足を捻ったりして、危険だと感じる。私は、道が復旧すれば、町の人が外に出ておしゃべりしたり、ウォーキングしたりできて、町の活気につながると思う。正院町の祭りでは、またキリコが巡行できて盛り上がると思う。私には、とてもワクワクしてくる。私は、正



院小の鼓笛パレードを震災前のように、町内を1周歩いて回りたいと強く願っている。正院町の皆さんに、鼓笛演奏を聞いてもらい、笑顔になってほしい。正院小のみんなと、息ぴったり足を高く上げて、元気にく行進したい。

今の珠洲市の道路の復旧状況はどのようになっているか。市道などの市民のみならず、人がよく使う道の補修工事の予定はどうか。

【市長答弁】

珠洲市では、これまで地震や豪雨により被災した道路の応急的な復旧を進めるとともに、現在、本復旧に向けた調査や設計に取り組んでいるところであり、正院小学校の皆さんが通学やパレードなどに使われている道路についても、できる限り早く復旧できるように取り組んでいきたいと考えている。しかしながら、道路の本復旧にあたっては、上下水道管の復旧とあわせて進める必要がある箇所については部分的な舗装を行うなど、応急的な対策も引き続き行っていきたいと考えている。なお、正院小学校の通学路でもあり、正院駐在所そばの飯川橋については被害が大きいことから、今年の11月から橋の架け替え工事を行う予定としており、完成までには約2年かかると見込んでいる。

また、地域の皆様との「新たなまちの私たち」についての議論を通し、復旧工事とあわせて道路を拡幅するなど、より安全で快適なまちとなるよう取り組んでいきたいと考えている。鼓笛パレードで町内を一周できたり、キリコが巡行できるよう、また、市民の皆様がずっと住み続けられる珠洲市になるよう、必ず、復旧・復興を成し遂げていく。

▼SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」

蛸島小学校6年 寺田夏絵

蛸島町に落ちていくごみで、たばこやアイスのカップ、お菓子の袋、空き缶やペットボトルなど軽い気持ちで捨てたと考えられる物があった。「つかう責任」について、決められた場所以外にごみが捨てられていることは、つかう責任が果たされていないことだと思っ



た。

1つ目はごみの活用について、回収したプラスチックごみや災害ごみを資源としてアップサイクルするなど、珠洲市でのごみを活用するためにどのような取り組みをしているか教えてください。

2つ目は「つかう責任」について、私たちは、自分の持ち物に責任を持ち、少し壊れても直すなどして物を最後まで使ったり、みんなの物を大切に使用したりすることに取り組み、全校に呼びかけていこうと考えている。珠洲市では「つかう責任」として何か取り組みをしているか。

【市長答弁】

珠洲市においては、現在、家屋の解体・撤去が進んでいるが、木材や瓦、コンクリート、ガラス、金属など、細かく分別すれば、そのほとんどを次に役立てることができる。コンクリートを砕いたものを道路などの復旧工事の資材として利用しているほか、飯田港の埋立てなどにもこの砕石を利用することとしている。また、金属類や家電製品などは、リサイクルされており、木材については、利用方法に合わせて一部をチップ化し、バイオマス発電施設の燃料や木材製品、セメントの原料などとして有効活用されている。さらに、県内のリサイクル会社では、瓦を砕いて建築材料として再生するなど、再利用に向けた取り組みも行われて

いる。

次に、「つかう責任」の取り組みについては、昨年元日の能登半島地震の発生直後は、プッシュ型で様々な物資が届けられ、健民体育館がふれるくらいでしたが、2週間後くらいからは、各避難所から聞き取った必要な物資を注文するプル型に切り替え、不用品が発生しないよう取り組んできた。それでも物資が健民体育館に入りきらなくなったときは、市民の皆さんにお知らせし、必要とされる方にお分けする機会を設けたり、賞味期限切れが近い物資については、フードバンクに提供し、食品ロスを防ぐなどの取り組みも進めてきた。

また、現在、珠洲市においては、オーガニックビレッジの取り組みを進めている。これは、化学肥料や農薬に頼らない農業を推進する取り組みで、鉢ヶ崎での引退競走馬を活用した堆肥作りなど、農業者に加え、地域全体で取り組みながら、自然と共生する持続可能な珠洲市を目指している。

▼「また行きたいな」と思ってもらえる珠洲

みさき小学校6年 向輝生

私たちは、「10年後にはどのような珠洲市になってほしいか。」というテーマで珠洲市の未来について話し合いを進めてきた。私たちは「また行きたい」と思ってもらえる町になってほしいという結論にたどり着いた。また行きたいと思ってもらうためには、珠洲の魅力の一つである自然を感じてもらうことが大切だという意見が出た。昨年、SUP体験、自然に囲まれたピザ釜でピザ作り、マラソン大会の練習で砂浜を走る、校庭にある木を活用して、スラックラインやスパイダージャングルジムで裸足で遊ぶ、竹を使用し流しそうめんやご飯を炊いたりする体験をした。この体験を通



して珠洲の魅力は自然だということに気がついていた。珠洲の自然を感じ、また行きたいなと思ってもらうために、子どもや大人も楽しめる遊具やスポットを作れば良いと思う。

そこで、「また行きたいな。」と思ってももらえるような町にするために、珠洲市はどのような取り組みをしているか。また、「珠洲の自然を感じてもらえるようなスポットを作る」とよい」という私たちの考えをどう思うか。

【市長答弁】

「また行きたいな」と思ってもらえるような珠洲市の取り組みについては、奥能登国際芸術祭の鑑賞が可能な10箇所作品を活用し、復興応援ツアーとして、多くの方々にお越しいただいている。また、蛸島町の珠洲ホースパークは、自然豊かな環境の中で、ブラッシングや餌やり体験など、人と馬が触れ合うことができる魅力的なスポットとなっており、これからの珠洲市の観光の柱となるよう、整備を進めているところである。さらに、今後、地震で隆起した外浦の海岸を新たな魅力として発信していきたいと考えている。加えて、珠洲の自然を感じてもらえるスポットとして、折戸町の木ノ浦健民休暇村野営場では、魅力ある豊かな自然の中でゆったりと過ごすことができるし、木ノ浦ビレッジでは、絶景を見渡せるコテージで宿泊することができ、目の前の海での釣りや、遊歩道でのノルディックウォーキングなどが楽しめる場所となっている。なお、鉢ヶ崎海水浴場にある鉢ヶ崎メインバスハウスや鉢ヶ崎ケビンについては、地震による被害が大きいため、今後、解体し、珠洲市の美しい海の魅力を高める新たな施設を整備していきたいと考えている。

珠洲市の観光の再生に向けて、多くの方々に「また行きたい」と思っていただけのように、珠洲市の魅力である自然を活かし

た施設の整備や取り組みを進めていきたいと考えている。

▼珠洲市の「DX推進計画」

宝立小中学校8年 谷内麗奈

珠洲市の「DX推進計画」には、「AR技術を活用して市内の名所を再現し、記念撮影ができるスポットを整備する」という取り組みが盛り込まれている。このような計画は、観光客の方々に珠洲の魅力を分かりやすく伝えるだけでなく、私たち市民にとってもふるさとへの誇りを感じるきっかけになると感じた。かつてあった「思い出の場所」や「大切にしてきた景色」がAR技術で再現されることで、ふるさとへの愛着をあらためて実感できるようになるのではないかと、今年度はARスポットの選定や現地調査が行われると知った。そこで、2つ質問がある。



1つ目は、AR技術を活用したこの取り組みが現在どのように進んでいるのかを教えてください。2つ目は、私たち中学生や市民がこの取り組みに関わることは可能なのか。

【市長答弁】

珠洲市DX推進計画にあるAR技術を使った撮影スポットの設置については、まだ実現できていないが、現在、観光の再生を図るため、国の能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業を活用し、仮想現実（VR）の技術によって、珠洲市の観光資源や祭りなどを紹介する体験型コンテンツの制作に取り組んでいる。このVR映像によって、見附島をはじめ、緑剛埼灯台の朝日や夕日、仁江の千畳敷、奥能登国際芸術祭の常設作品などの観光資源や伝統産業である「揚げ浜式製塩」や酒造りを紹介するほか、キリコ祭りの様子を360度映

像やVR空間で再現することとしている。また、映像に合わせ、地域の祭りにまつわる歴史や文化、産業などの解説も組み込むこととしており、珠洲市に来たことがない方にご覧いただき疑似体験をしていただくことで、珠洲市のことをより深く知り、珠洲市に足を運んでいただくきっかけにしたいと考えている。

なお、石川県の令和6年能登半島地震アーカイブ地震の記憶・復興の記録において、産学官石川復興プロジェクト会議の事業として、石川県、北國新聞社、NTTグループの3者が連携し制作した見附島の映像をみる事ができる。見附島の映像には、現在の見附島の姿だけではなく、震災前の勇壮な姿が復元されており、珠洲市としても、産学官石川復興プロジェクト会議と連携し、観光の再生につなげたいと考えている。

なお、AR技術を使った撮影スポットについては、地震や豪雨により被災した道路の復旧を進め、珠洲市を訪れた方がスムーズに市内を周遊できるようになった段階で、設置したいと考えている。また、設置する際には、市民の皆様からも選定スポットについてご意見をいただきたいと考えているので、その際には、宝立小中学校の皆さんのおすすめの場所や思い出の場所をぜひご提案いただくとお願いする。

▼防災公園の整備

緑丘中学校3年 川坂南葵

震災で珠洲市の景色は随分変わってしまった学校のグラウンドも仮設住宅が建てられ、遊び場



所や居場所がなくなった。また残っている遊具や公園も壊れたままで、手入れが行き届いておらず、安心して遊べる場所になっ

ていない。そこで、防災公園に関する質問と要望がある。令和7年度末までに設計が完了することについて、どの程度設計や計画が進んでいるのか教えてほしい。また、どこに設置するか。小規模の防災公園を、各地区の仮設住宅や小学校・保育園のそばに設置できないか。子どもたちの生活圏に公園があることは親の立場から見ても安心して公園に行かせることができる。また、仮設住宅のそばにあることで、お年寄りの利用も見込まれ、世代間交流の推進にも繋がりが、地域の活気に結びつくと思う。防災公園に日陰を作ってほしい。一本柱の大テントであれば、建設費もある程度抑えられ、夏場の日よけとしてだけでなく、雨天時の子ども活動場所の確保、冬の時期での一時的な避難場所としても活用できる。緊急時に必要な水や食べ物、暖を取るためのグッズなどの備蓄も合わせて、災害時に役立ち安心して避難できる防災公園の設置を望む。

【市長答弁】

防災公園の整備については、現在のところ、具体的な取り組みを進めることができていないが、地震により被災した公園については、復旧に向けた設計を今年度中に終わらせるよう取り組んでおり、その後、順次、復旧工事を進めることとしている。

なお、各地区における防災公園の整備については、市内各地域の皆様と「新たなまちのかたち」の議論を重ねる中で、ともに考えていきたい。加えて、防災公園を整備する際には、日陰のスペースを設けることができるよう取り組んでいきたい。さらに、飯田高校の下の「ゆとりーとぱーく」を活用し、天候を気にせず、安心して安全に過ごせる屋内交流施設を令和9年度中の完成を目指して整備することとしている。この

(次ページに続く)

屋内交流施設については、アスレチックなど楽しく遊べるスペースのみならず、サロン活動やワークショップ、料理教室など子育てに役立つ情報交換の場としても活用していただくとともに、災害時には高齢者や乳幼児、障害のある方など要配慮者の避難所としても運営できるように、備蓄倉庫なども整備したいと考えている。

安全で快適な魅力ある珠洲市に向けて、取り組んでいく。

▼ARの活用、減災・防災学習の拠点づくり

緑丘中学校3年 寺田昂太

災害の痕跡を震災遺構として整備する際に、減災・防災の情報発信をする拠点として整備することを提案



をもとに戻すことはできずとも、現状を活かす新しい方向で考え、フラワーガーデンを作ったり自分で書いた絵やメッセージをプロジェクトマップで投影したりできる映えスポットとして活用するという提案をした。震災遺構を観光資源としての活用をお考えならば、AR技術を使った後世への継承に加えて、観光客や小中学生も気軽に参加できる内容も視野に入れて進めてほしい。また、現状を逆手に取り、今しか見ることができない様子を活かしていけばどうか。具体的には、防災学習と連動した被災地をめぐる修学旅行や被災地ツアーの誘致である。復興計画では、震災遺構の調査が中長期の計画となっている。住まいの再建や道路などのインフラ整備が優先事項だということは十分理解している。しかし、街の景色は変わっていく。また、全国的には能登半島地震の報道がほとんどなく

なり、被災地の復興・復旧は進んでいると思っている方が大半を占めているとも聞く。全国的に災害に対する危機感が高まって、減災・防災教育が重要視されるなか、例えば人気の金沢方面への観光とセットで実現できないか。私たち中学生も、体験を話す語り部として行動できると思う。その拠点として、見附島などの観光資源の環境整備を進めてもらえればうれしい。

「市長答弁」

現在、石川県観光連盟と連携し、度重なる災害から復興を遂げてきた珠洲焼や珪藻土、揚げ浜式製塩などの伝統産業の復興への取り組みについて理解を深めていただくことに加え、段ボールベッドやパーティーションづくり体験などを新たなコンテンツとして「いしかわ震災学習プログラム」に登録し、修学旅行や被災地ツアーの誘致に向けて準備を進めている。なお、東日本大震災の被災地を巡るツアーにおいて、中学生や高校生が実際に語り部としてガイドを務めている事例もあり、珠洲市に修学旅行にいられた生徒の皆さんに、地元の子供の皆さんが実際に経験されたことを直接話すことは、より理解を深めることができるし、新たな交流が生まれることにつながると思う。また、金沢方面の観光との連携については、既に、旅行会社において、金沢観光と合わせた、一日珠洲市を巡るツアーを造っていただいております、多くの方に珠洲市を訪れていただいているが、今後も、広域的な観光ルートを通して珠洲市にお越しただく方が増えるよう取り組んでいきたいと考えている。

珠洲市の復興に向けて、珠洲市の観光の再生が重要であり、今後も、様々なアイデアをご提言いただきたい。

▼災害ごみの処分と再利用

三崎中学校3年 新出海羽



荷台に建築廃材を山積みにしたトラックと多くすれ違ったり、ごみの仮置き場に廃材が山のように積まれている。日常的に目にしたこの光景に、自然と「この建築廃材は、今後どうなるのだろうか」という疑問がわいてきた。

廃材の山を目にしていた私たちは、「建築廃材は減っているのか」という考えを持つに至った。ニュースなどでは、解体の進み具合は報道されているが、廃材の処理状況についてはあまり報道されていないように思う。実際、廃材の処理はどれくらい進んでいるか。また、それらがどのように処分されているのか。東日本大震災の際には、木材はチップ化され、バイオマス燃料や土壌改良材、建材として再利用されたそうである。また、瓦礫は細かく砕かれて再生砕石や道路の路盤材として活用されたと聞いた。そのことから、私たちは、珠洲市においても同じように廃材を再利用できないのではないかと考えた。私たちは今、総合的な学習の時間に、地域の人たちが集える場所をつくろうと、学校の敷地内にピザ窯を製作中である。このピザ窯を長く地域の交流の場とするために、完成後には窯を囲う小屋を建てられたらいいなと思っている。廃材はどのように処分され、活用されるのか。また、もし再利用が可能なのであれば、個人や学校で廃材を活用することは可能か。その際の手続きについても併せて回答をお願いする。

「市長答弁」

公費解体をはじめ地震や豪雨で発生した

廃材などは、災害廃棄物として処理される。珠洲市では現在、被災した家屋の解体・撤去の申請は、5,574件、8,416棟となっており、86.5パーセントが完了している。また、廃棄物の処理状況については、6月末の時点で、予想される量の約76.4パーセントの処理を終えている。災害廃棄物は、発生した自治体で処理することが基本であるが、昨年の地震や豪雨による廃棄物はあまりにも膨大であることから、廃棄物の種類や搬出量などについて調整をした上で、新潟県の工場や中部地方、首都圏の自治体の施設などに運んで処理をしてきた。その際、トラックだけでなく、鉄道や船も利用している。

このほか、建築家の坂茂氏が代表を務めるNPO法人などが主体となり、被災した建物の瓦や木材を回収し、震災で失われた奥能登の景観を復興する際に、再利用できるように再生活動に取り組んでおり、具体的には、仮設住宅の宝立町第2団地の集会所の屋根瓦に再利用しているほか、金沢21世紀美術館が主催する美術鑑賞・制作のワークショップでも木材を活用していただいている。さらに、県内のリサイクル会社では、瓦を砕いて建築材料として再生するなど、再利用に向けた取り組みも行われている。

このように、廃材は様々な形で活用されているので、三崎中学校の皆さんが、ピザ窯を囲う小屋を建てるための木材の活用については、計画が具体的になれば学校を通して環境建設課までご相談いただきたい。

▼「市民の足」としてのすずバスの時刻

大谷小中学校9年 川端美冬

(代読) 大谷小中学校8年 水上しゅり
大谷小中学校では、昨年度から始めた「大

谷ガチャ」の取り組みにより珠洲市の復興に寄与したいと第2弾の取り組みも行っている。第1弾の取り組みで集めた寄付金をこの4月に市長さんに手渡した。その折に私たちは「道路の復旧に使ってほしい」とお願いした。震災前は、国道249号の難所だった大谷峠をトンネルとループ橋で迂回する、大谷道路によつて、大谷から飯田まで安全に短い時間で移動することができた。しかし、現在はまだ復旧せず、大谷峠を通過して飯田まで時間がかかる。また、市長さんは「市民の皆様や関係の皆様とともに考え、議論し、誰一人取り残すことのない持続可能な復興」ともおっしゃっている。そこで、市民の足としてのバスは、市民にとって、便利



なく、総合病院に入院するために、バスを利用すると、丸一日が必要だという話もよく耳にする。最終便が16時38分のため、飯田高校の部活動が終わる時間の18時30分にはバスに乗ることができない。学生にも配慮したバス時刻にしたいだけではないか。バスを利用する利点は2つで、1つ目は、親の負担が減ること、2つ目は、時間を有効に使えること。

揚浜塩田の「珠洲ブランド」としての価値向上のためにも、多くの方々を訪れ、大谷町のなりわい再建をするためにも、道路の整備やバス運行など、市民の足と観光に来られる方の足の確保をお願いする。

「市長答弁」

大谷小中学校の生徒の皆さんが、地域の魅力の発信と復興に向けて、シーグラスや貝殻のアクセサリー、揚げ浜式製塩の塩などをカプセルに入れ、「大谷ガチャ」とし

て販売し、売上金を本市にご寄附いただいた。改めて、大谷小中学校の生徒の皆さんに、心から感謝申し上げます。さらに、第2弾のガチャに取り組むなど、生徒の皆さんが自ら考え、行動する姿は、まさに本市の希望であると感じている。

昨年9月の奥能登豪雨により、大谷町の中心部において、宅地や農地に堆積した土砂については、国土交通省のご支援をいただき、3月末までに撤去することができた。国道249号の沿岸部と大谷道路の復旧については、国土交通省による権限代行で工事を進めていただいている。大谷トンネルや仁江・真浦間の逢坂トンネルについては、年内には片側交互通行ではあるが、一般車両の通行が可能となる見通しとなるなど、大谷地区の皆様が芽吹くよう取り組んでいる。

珠洲市内のバスなどの公共交通については、バスがマイクロバスやワゴン車を利用して、無料で運行している。この度の震災で、道路が寸断されたことや、津波によって3台のマイクロバスが使えなくなったこと、ドライバーが被災し、市外へ避難されたことなどから運行することが難しくなっていた。こうした中、ドライバーが避難先から徐々に戻ってこられ、ライオンズクラブ国際協会3341D地区の皆様からマイクロバスをご寄附いただき、さらに、自動車メーカーから車両をお借りすることができたことから、道路の復旧や仮設住宅の完成に合わせて、運行する区間を少しずつ拡げてきた。現在は、震災前から運行していた6ルートに加え、これまでの宝立ルートに替わる宝立・上戸地区臨時バスや、大谷狼煙ルートに替わる高屋・馬繰地区臨時バスを、いずれも週に2日運行している。また、必要に応じて、仮設住宅の団地に新たなバ

ス停を設けており、学校の終業時間の変更に伴うバスの運行時刻の変更など、可能な限り柔軟に対応している。珠洲市としても、バスや市内バス事業者と連携し、震災前の便数に戻すことを考えているが、ドライバー不足が大きな課題となっている。

バスでは、ハローワークを通じた募集や、大型バスの免許をお持ちの方に直接お声がけするなど、ドライバーの確保に向けた取り組みを進めている。こうしたことから、バスの時刻の変更については、ドライバー不足が解消されれば対応できると考えている。さらに、国の制度を活用し、マイクロバス1台とワゴン車1台を購入することとしており、道路状況によるが、早ければ10月から、大谷飯田ルートにおいて、震災前のように町野町までの運行を再開させる予定としている。また、バスは無料で利用することができることから、観光客の方にも大いに利用していただきたいと考えている。

なお、市内での北鉄奥能登バスの利用についても、市民の皆様が無料で乗車を配布しているため、市内における公共交通は、実質無料化されている。このほか、運行やドライバーの配置の効率化に向けて、国、県、奥能登2市2町、バスやタクシー事業者が連携し、それぞれの市や町だけではなく、市や町を跨ぐ、AIデマンド交通の導入に向けた取り組みも進めている。

今後も、事業者と連携しながら、市民の皆様への利便性の向上はもとより、市内外から通う飯田高校の生徒の皆さんが楽しく高校生活を送れるよう、持続可能な公共交通の構築を図っていききたいと考えている。



金沢大学 能登学舎の窓から

夜風に秋の気配を感じる季節になりました。この夏は、猛暑と水不足かと思えば大雨になり、激しい変化に右往左往する日が続きました。近年の気象変化の激しさは、地球温暖化が要因の一つと指摘されています。2023年7月に国連のグテーレス事務総長が言及した「地球沸騰化の時代の到来」を念頭に、経験したことがないような変化に対応することが必要になりそうです。そんな中で、実りの時期を迎え、美しく黄金色に染まった田んぼをみると、農家の方への感謝と将来への不安を感じます。今回は、地震や大雨で被害を受けながら、米作りを続けている農家の方に思いを馳せつつ、田んぼに集まる生き物を通して、田んぼの維持につながることを考えてみたいと思います。

田んぼの生き物というと、どんな生き物が思い浮かぶでしょうか。昔からなじみのあるカエルやメダカ、ドジョウ、トンボなどでしょうか。農家の方は、カメムシやドロオイムシ（イネクビホソハムシの幼虫）、イネミズゾウムシ、イネツトムシ（イチモンジセセリの幼虫）など、害虫の名前が思い浮かぶかもしれません。珠洲市では、2013年から10年以上続けている小学校での生き物観察会で、田んぼやその周りの水辺にいる生き物が300種以上確認されました。絶滅が心配される生き物も、複数の校下で観察されています。多種多様な生き物は、生き物同士のつながりが生み出す機能（例えば病害虫防除など）を担い、生態系を維持していると考えられます。

今年は、市内でコウノトリが巣を作り、ヒナを育てました。コウノトリは田んぼや川でドジョウなどの魚やカエル、

へび、昆虫などをエサとして利用します。コウノトリが繁殖場所に選んだということは、十分なエサを確保できる、生き物にとって良い環境の水田地帯があると判断されたと考えて良いと思います。近い将来、トキも市内で繁殖するかもしれません。これらの鳥は、人の興味を引くとともに、珠洲の自然環境や田んぼの生き物の豊かさを示すシンボルとして活躍してもらえそうです。

多様な生き物や絶滅しそうな生き物がみられる珠洲の田んぼで、消えつつある生き物がいます。それは人です。田んぼの周りから子どもがいなくなり、最近では米づくりをする人も減りました。珠洲の風景を作り、多くの生き物を育てている田んぼを、これからも維持するにはどうすれば良いでしょうか。何より、田んぼに興味を持つ人を増やすことが大事かもしれません。生き物観察会やコウノトリの繁殖、希少な生き物などは、興味を持つためのきっかけになります。田んぼに価値を感じる人も一緒に、田んぼを守っていく方法を探り当てることが、復興にも役立つと信じています。



子育て中の巣の様子（7月7日撮影）

●宇都宮大輔 【うつのみや だいすけ】

珠洲市自然共生室自然共生研究員。専門は花と昆虫の相互利用関係（送粉生態学）。2007年からマイスター事業のスタッフとして珠洲で勤務。2015年4月から現職。



すえなかく
おしあわせに!

瀧下 斗真（折戸町） ♥ 島 菜々華（津幡町）

（7月16日～8月15日受付分・敬称略）



の動き
（7月31日現在）

7月の動き

	世帯数	人口	男性	女性	前月比	転入	転出	出生	死亡
	5,328 世帯	10,786 人	5,117 人	5,669 人	(- 39)	12 人	85 人	2 人	24 人
					(- 95)				
					(- 35)				
					(- 60)				

（住民基本台帳人口）

復旧・復興・新聞



#3 上戸小学校新聞 上戸小学校 6年生

【コーナー説明】市内の小・中・義務教育学校では、北國新聞社・珠洲支局の方から、新聞・記事の読み方や伝わりやすい書き方を学んでいます。「小中学生がつなぐ連載コーナー」では、学んだことを生かして作成した学校紹介（全11校分）を掲載します。

上戸町、珠洲市の復興に向けて「みんなで作る珠洲市の絆 笑顔あふれる町づくりを目指して」

上戸小学校は、四月から「笑顔あふれる学校」になるように、みんなが仲良く協力し合って、勉強や運動、行事に取り組んでいます。学校だけでなく、私たちが住む上戸町や珠洲市がこれからもっと笑顔であふれるように、どんなことができるか考え、話し合いました。

今こそ、地域とのつながりを！

昨年は、地震の影響でいろいろな地域の行事が中止、または縮小して開催されました。今年は上戸七夕祭りや秋祭りが実施される予定だそうです。地域の行事に積極的に参加することで、地域の人々とのつながりが強くなると思います。上戸小では、「すこやか会」があり、放課後に太鼓教室やトランポリン教室、ミニバス教室などがあります。地域の方々からいろいろなことを学べるので、みんな進んで参加しています。「すこやか会」は、地域の人とつながることができるので、これから先もずっと続いてほしいです。



また、子ども会の活動として、無病息災を願う伝統行事「オンノキバ（鬼の牙）」を継承するために、地域住民のみなさんにかき餅を配りました。たくさんの人に元気を届ける活動になったと思っています。



学校では、児童会活動として、「せんだんコンサート」を企画し、日ごろの学習の成果を発表しました。コンサートでは、地域の方々と一緒に歌ったり、手遊びしたりして、交流もしました。自分たちががんばっている姿を見せることで、多くの人の心の復興につながるかと感じました。これからは、珠洲市の復興のため

に、自分たちから発信することも継続していきたいです。



もっと知って！珠洲市

珠洲市は、大浜大豆や能登大納言、塩や海藻、きのこなどの特産物が豊富にあります。珠洲の里山里海が大切にされているからこそ、たくさんの特産物があるのだと思います。この特産物をホームページでPRしたり、イベントを開催したりして、多くの人に知ってもらいたいです。それと同時に、この特産物が何年先もとれるように、珠洲の自然を守る取組も考えていきます。

令和7年国勢調査が行われます

回答はかんたん便利なインターネットまたは郵送で！

- 国勢調査は、住民票などの届出に関係なく、2025年(令和7年)10月1日現在、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。
- 9月下旬から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類を直接お配りします。
(一部地域は郵送)
- 回答は、10月8日(水)までに、できる限り、インターネットもしくは郵送でのご回答をお願いします。
- 国勢調査の結果は、災害時に必要な物資を備えたり、高齢者福祉対策に利用されるなど、わたしたちの生活の身近なところに役立てられています。
- 万が一、調査員配布と郵送で調査票が2部届いた際は、下記までご連絡をお願いします。

インターネット回答期間

9/20 (土) ~ 10/8 (水)

調査票(紙)での回答期間

10/1 (水) ~ 10/8 (水)

詳しくは
こちら



■ 問い合わせ 総務課情報統計係 ☎(82)7878

グッドマナーキャンペーン ~すべての大人が子育てを！~

交通ルールや公共マナーを青少年に呼びかける「グッドマナーキャンペーン」が9月に県下一斉で行われます。子どもは大人の行動をよく見ているものです。

市内では1週間程度、学校の登校時にあいさつ・声かけ運動を実施します。

子どものよい手本となるよう右記の行動例を参考にグッドマナーとは何か、一人ひとりが考え行動に移していきましょう。



■ 教育委員会事務局生涯学習係
☎(82)7826

重点目標

- 気持ちのよい行動をしよう！
- 自分を大切にしたい行動をしよう！
- 思いやりのある行動をしよう！

子どものよい手本となる行動(例)

- 車の運転中
 - ◎ 交通ルールの遵守
 - ◎ ながら運転をしない
 - ◎ 歩行者優先の思いやりのある運転をする など
- 職場の中で
 - ◎ 気持ちのよい挨拶をする
 - ◎ 相手を大切にしたい発言、発信を心がける など
- 地域のイベントなどで
 - ◎ 道路等にごみは捨てず持ち帰る
 - ◎ ごみ拾いボランティア等に参加する
 - ◎ 喫煙は決められた場所でする
 - ◎ 子どもがマナーやルールを守ってよかったと思える声かけをする など



掲載希望者募集中!

このコーナーでは市内に住む小学校入学前のお子さんの写真を募集します。お子さんの写真データに以下を添えて、メールでご応募ください。

① お子さんの氏名(ふりがな) ② 誕生日 ③ 性別 ④ 住所 ⑤ 電話番号 ⑥ 40字以内のコメント

※ 次回は10月号の掲載になります。9月5日(金)までにご応募ください

※ 応募多数の場合は掲載が次の号になることがあります

《メール》 koho-kocho@city.suzu.lg.jp

■ 問い合わせ 総務課情報統計係 ☎(82)7715